

工業用水道事業会計決算

平成24年度

公営企業の決算状況をお知らせします

384万円の

単年度黒字

平成24年度は、前年度から2事業所が増え、27事業所に給水を行いました。

給水量は、主に医療機器製造業の使用水量が減少したため、前年度に比べ0・7%の減少となりました。

収支は、収入が前年度より125万円増の4733万円、支出が前年度より227万円増の4349万円となり、384万円の黒字となりました。

この純利益(利益剰余金)は借入金の返済に充てるため積み立てます。

用語解説(グラフ内)

※1 減価償却費

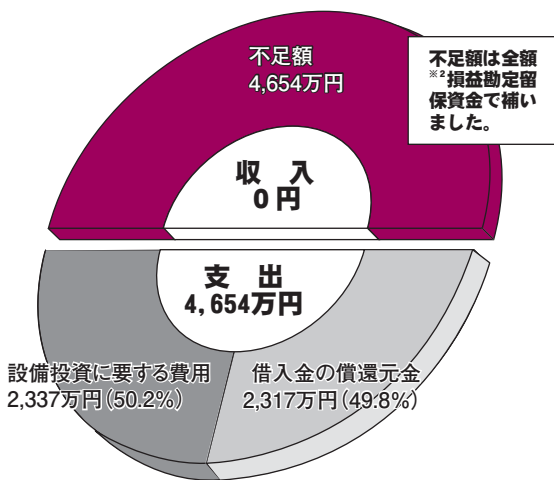
建物や設備など、時の経過によって価値が減る分を計算し、その年度の費用とします。実際には現金の支払いはなく、会計処理上、損益勘定留保資金として処理します。

※2 損益勘定留保資金

資本的収支の不足額を会計処理上補う財源の一つで、減価償却費などの現金支出を伴わない経費を蓄積した資金です。

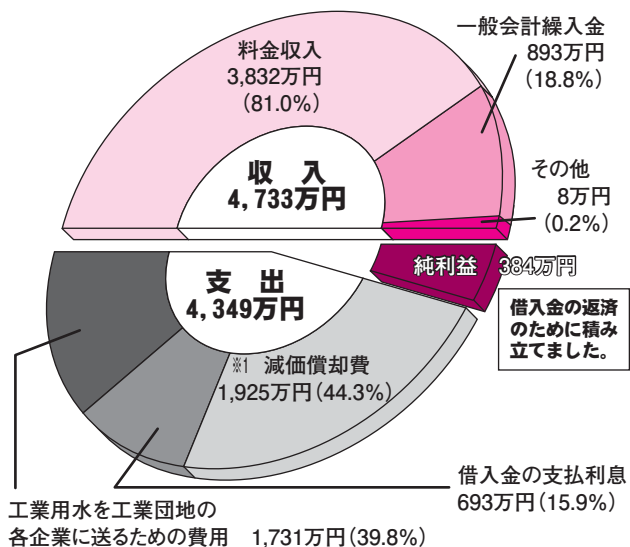
資本的収支(消費税込み)

(施設の整備に関する収支)



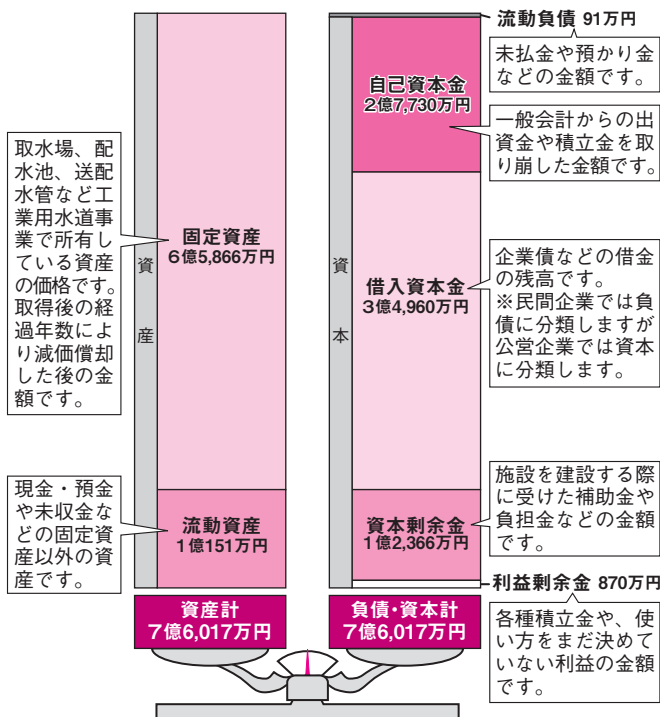
収益的収支(消費税抜き)

(事業の運営に関する収支)



平成24年度 大館市工業用水道事業貸借対照表

(平成25年3月31日現在)



給水状況

給水事業所数	27事業所
配水能力	5,300m ³ /日
年間総配水量	1,332,152m ³
1日最大配水量	4,511m ³
1日平均配水量	3,650m ³

年間配水量の推移

